

# Index

トップコミットメント…………… 03

## 会社案内

カシオの歴史…………… 05  
カシオグループの事業概要…………… 07  
カシオの特長と強み…………… 13

## CSRハイライト

研究開発「次世代燃料電池の研究開発」…………… 16  
生産「2005年日経ものづくり大賞」を受賞…………… 17  
社会貢献「一万人の工場見学」…………… 19  
環境「地球温暖化防止のための2010年度に向けた取り組み」…………… 21  
「欧州の法規制に対する取り組み」…………… 22

## CSRマネジメント

経営理念と創造憲章…………… 23  
コーポレート・ガバナンス…………… 24  
コンプライアンス&リスクマネジメント…………… 25

## 市場とカシオ

お客様への責任—製品の安定供給…………… 27  
お客様への責任—次世代製品の研究開発…………… 28  
お客様への責任—顧客満足と品質保証…………… 33  
お取引先への責任—良きパートナーシップの構築…………… 36  
株主・投資家への責任—適正な利益還元と情報開示…………… 37

## 地球環境とカシオ

環境経営ビジョン…………… 38  
カシオグループ環境憲章と環境基本方針…………… 39  
環境行動目標クリーン&グリーン21…………… 40  
環境マネジメントシステム…………… 42  
環境適合設計からCSR適合設計へ…………… 44  
LCA評価報告…………… 45  
グリーン調達・グリーン購入…………… 46  
事業活動のマテリアルバランス…………… 47  
事業別のマテリアルバランス…………… 48  
環境会計…………… 49  
地球温暖化防止への取り組み…………… 51  
大気・水質汚染防止と用水使用量低減…………… 52  
化学物質の管理と使用量の削減…………… 53  
廃棄物発生量・最終埋立処分量の削減…………… 54  
物流における環境配慮…………… 55  
包装材における環境配慮…………… 56  
環境コミュニケーション／ディスクロージャー…………… 57

## 従業員とカシオ

雇用機会の創出／人材の登用と活用…………… 58  
働きやすい職場環境の提供…………… 60  
労働安全衛生の取り組み…………… 61

## 社会とカシオ

社会貢献活動の考え方…………… 62  
地域社会への貢献／市民社会への貢献／国際社会への貢献…………… 62  
その他の主な社会貢献活動・寄付活動…………… 65

## 資料

Company data…………… 66  
社会からの評価・報告範囲…………… 68  
第三者意見…………… 69  
GRIガイドライン対照表…………… 70

## 編集方針

カシオは、1999年から「環境報告書」の発行を開始しました。2004年に社会的・経済的側面を加えて「環境経営報告書」とし、2005年には、「CSR報告書」として内容の充実に努めました。2006年には、さらに「コーポレートレポート」に改め、「会社案内」と一体化し、冊子版に詳細情報を加えたWeb版を発行することにより、多くの情報をわかりやすく、各ステークホルダー※に情報開示を行います。

- すべてのステークホルダー※を対象読者とし、カシオ製品をご愛用いただく一般のお客様にも読んでいただけるよう、わかりやすい記述・表現を心掛けています。
- 本レポートの文中では、カシオグループを「カシオ」、カシオ計算機株式会社を「カシオ計算機」として区分して表記しています。
- 色覚特性をお持ちの方にも読んでいただけるよう配慮し、グラフや図などについてバリアフリーデザインを心掛けています。

### ※ステークホルダー：

お客様、取引先、投資家、株主、従業員、地域住民、NGO、NPO、マスコミ、金融機関、研究者、行政などを指します。

### 「将来に関する予測・計画について」

本レポートに掲載されているカシオ計算機(株)とカシオグループの将来の予測や計画に関する記述は現時点で入手された情報に基づき判断したものであり潜在的なリスクや不確実性が含まれ、事業活動の結果が、これらの予測とは異なることがあります。

発行日 2006年10月

- 前回報告書発行  
(CSR報告書 2005)2005年8月

**「創造 貢献」をモットーに、  
私たちは社会とともに発展し続けます。**

「理想的な機能を持つ計算機を、自らの手でつくりたい」。

樫尾四兄弟は、歯車を用いて計算をする機械式計算機しかなかった時代に  
電気回路だけで計算を行う計算機の開発に着手し、  
1957年、世界初の小型純電気式計算機「14-A」を開発して  
カシオ計算機を設立しました。

以来、カシオはデジタル技術を用いて、時計、楽器、映像機器など、  
次々に新しい分野を開拓し、斬新な製品を送り出してきました。

誰もが必要としていながらも、満たされていない「普遍的な必要」を求め、  
それまでの常識にとらわれない発想によってカシオは  
独創的な製品を開発し、便利さや楽しさの提供、  
市場の創造、文化の発展などを通じて、  
社会に貢献することを目指しています。

この「創造 貢献」の考え方を企業理念に掲げ、  
製品の開発による社会貢献を会社の  
第一の責務としながら、カシオの全ての従業員は  
自らの携わる活動すべてにおいて社会貢献を自らの使命と考え、  
社会とともに発展することを  
目指してまいります。